

請願・陳情

採 択

○義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための2015年度政府予算に係る意見書採択に関する請願書

(要旨)

義務教育費国庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられた。

教育の機会均等と水準の維持向上を図るため義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元を求める。

(請願者)

群馬県教職員組合

不 採 択

○集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の撤回を国に求める請願書

(要旨)

現内閣は国会の議決を行わず、内閣による解釈変更を行い、集団的自衛権の行使を閣議決定しました。

そこで、集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の撤回を国に求める。

(請願者)

渋川勤労者協議会・渋川平和委員会

討 論

結果は16ページ審議結果のとおりです。

9月定例会では、議案及び請願の4件に対し、討論が行われました。主な討論の概要を報告します。討論とは、議案等を議決するに当たって、賛成、反対の意見を述べることがあります。

集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の撤回を国に求める請願書

反 対

○集団的自衛権の行使をせず、憲法を変え、自衛隊を即国軍とすることが望ましいが、今は憲法解釈の容認以外ない。

○今回の閣議決定は我が国と密接関係の他国に武力攻撃が発生し、我が国の存立が脅かされたときのみと限定している。この枠を超える海外への武力行使は許されないという事は明白。

賛 成

○今回の請願は集団的自衛権の行使の賛否を問うものではなく、あくまでも閣議決定で決める手続きそのもの

のことがおかしいということ。憲法はしっかりと守るべき。

○集団的自衛権行使は憲法第9条はもうないに等しい。時がたてば留めも改正され、どんどん戦争のできる国へ行ってしまう。ゆえに請願書を採択し、市民の声を国へ送っていただきたい。

平成25年度渋川市一般会計歳入歳出決算について

反 対

○道路除雪業務委託事業では、説明責任ができないと知りながら決算報告をしていることに対して遺憾の意を表す。

○全部が反対ではない。平成25年度初めてマイナス決算になった。こういうことを考え合わせると事業の中止も考えていくべき。個々

賛 成

の事業で市民への説明不足、精査不足等見受けられる。○平成25年度決算は除雪業務委託以外は反対するものではないが、除雪費用については到底認定できるものではない。

○反対者は除雪業務契約の勧告にこだわっているが不正を指摘するものではない。認定しがたいのであれば、明確な根拠を示すべき。



豪雪の除雪作業